

「まるみえ下水道塾」の取り組みについて

○設立趣旨

国土交通省において、若手職員の組織の枠を超えた自己研鑽・切磋琢磨を目的とし、「下水道場」が平成24年9月に設立されたことを受け、各自治体においても、地方版の下水道場が次々と設立されています。三重県においても、若手職員が集まり自己研鑽・切磋琢磨し、組織の枠を超えたネットワークづくりを目的とした三重県版下水道場を、平成30年1月に設立しました。

会の名称については、第1回のグループディスカッションにおける参加者の提案・投票により、「まるみえ下水道塾」としました。この名称は、下水道場を通じて、三重県内各自治体の事業を情報共有し、課題を「見える化」する場として、名付けられたものです。

○参加対象

- ・三重県内の下水道事業担当者

○事務局

- ・三重県下水道課

○開催状況

【平成29年度第1回】

日 時：平成30年1月10日

参加者：41名（県8名、市町32名、国（オブザーバー）1名）

場 所：三重県建設技術センター 鳥居支所

内 容：①基調講演「平成30年度下水道事業予算の概要について」
（中部地方整備局 建政部 森下主任）

②グループディスカッション

- ・日頃の業務の課題や苦勞について
- ・今後の活動内容、会の名称について



○開催結果（参加者の意見）

- ディスカッションのテーマを事前に複数設定し、どのテーマを議論するか選びたい。
- 未経験の工種や特殊工法の現場見学会を開催してほしい。
- 今回の議論の内容や質問をデータベース化してほしい。
- 議論が思った以上に盛り上がったので、時間が足りなかった。
各市町よく似た課題や苦労を抱えていると思った。
- 国に直接質問や要望ができたので有意義であった。

今後も上記のような参加者の意見をふまえ、より良い下水道場としていきたいと考えています。
年2回の開催を目標とし、下水道職員の技術力向上や問題解決に努めていきます。